

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きずな・リアン			
○保護者評価実施期間	2024年 9月 1日 ～ 2024年 9月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2024年 9月 1日 ～ 2024年 9月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 11日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学高学年・中学生・高校生が利用する中で、上級生が下級生の世話や手助けを行い、下級生は上級生を見て学んだり、日々刺激を受けながらの活動が展開できている。	日々の利用時の言葉遣いやマナーをはじめ、身だしなみチェックなどを実施している。	利用児の見本・手本となるよう支援者の言動や行動に気をつけての支援を心掛ける。
2	高校卒業後の進路に向けて生活スキルの向上を目指し、地域での買い物体験（金銭の管理など）や様々な施設の利用時のマナーなどの支援を行っている。	活動中では模擬買い物体験やゴミの分別などの支援を行い、地域での実践へと繋げていけるよう支援している。	社会性（挨拶・身だしなみ・言葉遣いなど）生活（忘れ物を減らす・お金の管理・交通機関の利用など）コミュニケーション（感情のコントロール・相手の気持ちを考える・自分の気持ちを伝えるなど）等のスキルアップを行えるよう支援する。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフ個々の役割の中で機能していないことがあり、パート従業員に伝えきれずちぐはぐになることがある。	パート従業員の出勤時間が、送迎時間や活動開始時間間際となっていることが要因	活動開始時の前に出勤とし、きっちり情報伝達ができるよう工夫していく。また、全体会議を毎月設定できるよう勤務配慮をしていく
2	個々利用者に対する個別支援が手薄になりがち、特に机上活動（宿題・PC操作・課題など）の個々に関わる時間が厳しい状況である	利用日にもよるが、活動をする上で個々に関わる重度の利用が多いことで、個別支援に関わる時間が取れない状況である	早急にパート従業員の補充が必要である
3			研修会などに参加し、スタッフのスキルアップ

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 きずな・リアン

公表日 年月日 令和6年10月31日

利用児童数 31

回収数 21

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21				昨年に移転して十分なスペースも確保され、清潔感も感じています	支援室に物の配置をせず、周囲を見渡せるようにしている。玄関からの導線も視界良好になる様にしている
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	2		2	職員配置の事はよくわかりません	管理者兼児童発達管理責任者 1名 保育士 1名 児童指導員 4名（常勤2名 非常勤2名） その他従業員 1名
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	1				移転して日が浅いので、再度確認していく必要があります
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21				移転して十分なスペースを確保し、学習スペースや静養室も整っている	日々清掃をし清潔で心地よく過ごせる環境になるよう努力している
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1		1		各種研修に参加し専門知識向上に努め、職員のスキルアップをしている
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	1				個々の特性やニーズに応じた支援計画を作成しています
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20			1		5領域を念頭に、個々のニーズに応じた支援計画を作成し支援しています
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1		1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	3	2	8	地域で他の子どもとの交流はありますか？	公園へ出かけた時には地域の子どもと鬼ごっこやフリスビーするなど交流をしている
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	1				契約時、重要事項説明書に沿って説明し、不測の事態には即対応できるように努めています
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21					保護者懇談を6か月毎に実施し、その際に計画書に沿って説明を行っている
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	1	1	1		研修やセミナーの情報があれば発信させて頂いています
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	21				利用ノートや送迎時、丁寧に伝えて頂き感謝しています	情報共有し、日々の支援に繋げていきます
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21					保護者懇談を6か月毎に実施し、家庭での様子を何ようになっています
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	4		2		今年は、夏祭りを開催して子どもたちや保護者館の交流を計画していましたが、台風の影響で中止となりましたが、近いうちに計画したいと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1		1	急な利用申し入れ等にも対応して頂きありがとうございます	契約時、重要事項説明書に沿って説明し、不測の事態には即対応できるように努めています

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	1				今年度よりホームページを開設しています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1		1		個人情報等の書類は事務所内の鍵のかかる棚に保管している。またスタッフには個人情報の取り扱いには周知徹底
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1		6		各種マニュアルは事務所内に保管し、閲覧要望があれば何時でも対応できるようにしている
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14		1	6		災害発生時のマニュアル保管し、災害訓練は年2回実施している
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21				・いつもありがとうございます。	日頃から安全面・衛生面に配慮し、子どもたちが楽しめる活動にと努めています
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21					
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	1				何かあれば即連絡を頂ければ、対応できるようにしています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
きずな・リアン		R6年 10月 31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		支援室に物の配置をせず、周囲を見渡せるようにしている。玄関からの導線も視界良好になる様にしている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		管理者兼児童発達管理責任者 1名 保育士 1名 児童指導員 4名（常勤2名 非常勤2名） その他従業員 1名 * 職員の人員基準を満たした上で支援しており、職員のスキルアップのため研修やセミナーに参加し、伝達講習を行っている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		昨年10月移転しスペースが広がったことでゆったり過ごせることを可能となりました	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・パーテーションで区切り、学習スペースを確保している。また、事務所兼静養室としカーテンで仕切りリラックスできるスペースを確保している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2		評価表等は事務所内に保管しており、いつでも閲覧できるようにしている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	2ヶ月ごとに開催されるスタッフ会議や学校からの申し送りや利用ノートで確認し意見交換をしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		研修会やセミナー等、職員には積極的に参加してもらっている	参加できない職員に対しての伝達研修の必要性
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		6か月毎に保護者懇談を実施し、アセスメント実施やモニタリングを行い、計画作成を行っている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援計画書は常に閲覧可能とし、共通理解のもと支援を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・長期休暇などの予定は早めに立案し、パリエーションのある活動を取り入れ、子供たちの楽しみを増やしていけるようにしている。 (クッキング・室内での制作活動等も)	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	時間の許す限り、日々の支援内容や分担を明確にするようしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3		時間的なことを配慮しながら日々のふり借りができるようにしていきます
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	個別の利用ノートと活動日誌に書き留めている。支援の検証や改善については支援員会議で行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	2		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	4	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		勤務の都合もあるが、児童発達管理責任者が出席できるような体制をとっている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	地域病院との連携を取り、受診や相談できるようにしている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	時間的に難しい時もあるが、できる限り学校との情報共有を行うようにしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1	デイから作業所に行った子どもが居ない	現状、卒業生が居ない状況。今後のためにも移行に関する情報収取していきます
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	近隣の公園での交流している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		研修やセミナー等があれば保護者には発信している	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		支援計画更新時、事業所に来て頂き支援プログラム等の説明を行っています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2		家族交流会を8月に予定していたが、悪天候により延期となり11月に開催予定である
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報等の書類は事務所内の鍵のかかる棚に保管している。またスタッフには個人情報の取り扱いには周知徹底	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		移転して間もないので、今後の課題として検討します
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	各種マニュアルは事務所に保管し、閲覧要望があれば何時でも対応できるようにしている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	2	地震災害と火災災害における訓練を年2回実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時、服薬やてんかん発作等の情報を聞き取り、不測の事態に対応できる体制をとっている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	アレルギー持ちの子は居るが医師の指示所はない	保護者からの情報を聞き取りしていきます
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		スタッフ会議で話し合い、再発防止に向けての意見交換をしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待に関する研修にスタッフを派遣し、伝達講習を行い周知徹底している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			